

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-139081(P2004-139081A)

【公開日】平成16年5月13日(2004.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2004-018

【出願番号】特願2003-355285(P2003-355285)

【国際特許分類第7版】

G 0 9 G 3/02

H 0 1 S 3/00

H 0 1 S 3/16

【F I】

G 0 9 G 3/02 A

H 0 1 S 3/00 A

H 0 1 S 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月4日(2004.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

図2は、図1に示す装置の表示画面90上のレーザビーム経路100を示したものである。結合レーザからの光が、表示画面90の左上隅から右上隅まで水平に走査されている。図の水平方向の実線矢印は、光ビームのこの移動を示したものである。光ビームは、次に、次の表示ラインを生成するように、ガルバノミラー60の作用によって垂直方向に下側に変位して元の水平位置にリセットされる。このリセットの間、光ビームは、有機レーザデバイス1a、1bおよび1cへの電流を直接小さくすることによってターンオフされている。このようにして水平走査が継続され、観察者5のための画像が表示画面90に構築される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 9】

【図1】本発明の一実施形態によるディスプレイシステムの略図である。

【図2】図1に示すディスプレイシステムの表示画面上への混合カラー光のラスタ走査を示す図である。

【図3】本発明の他の実施形態によるディスプレイシステムの略図である。

【図4】導波路構造を使用した、本発明の他の実施形態による代替ディスプレイシステムの略図である。

【図5】線形レーザアレイの略図である。

【図6】他の線形レーザアレイの略図である。

【図7】図1および図6に示す、レーザアレイの一部であるレーザ光源の略図である。

【図8】レーザ光源の代替設計を示す略図である。

【図9】基板を備えた複合レンズ拡散光エレメント95を示す図である。

【図10a】基板を備えた拡散光エレメント95としての非対称重合体ビーズの上面図である。

【図10b】基板を備えた拡散光エレメント95としての非対称重合体ビーズの横断面図である。

【図11】基板を備えた拡散光エレメント95としての湾曲表面を示す図である。

【図12】表示画面に統合された複合レンズ拡散板の略図である。

【図13】表示画面に粘着接着された複合レンズ拡散板の略図である。